

地域連携による 部活動の充実と地域の 一員としての誇りを育む

いなとり

静岡県東伊豆町立稲取中学校

全校生徒数	170名(男子89名 女子81名)		
全クラス数	7	教職員数	23名(内体育教員1名)
運動部活動	7	運動部活動参加率(全学年)	71.1%
地域の外部指導者の活用(年間延べ人数)			36人

取組時の課題と目的

Plan

1 取組時の課題

東伊豆町生涯学習推進大綱には、生涯スポーツの推進や町民体育大会、各種スポーツ、部活動への参加・協力・連携が唱われている。全校7学級の部活動は、専門的指導者が不足がちなため、大綱にある地域の学校サポート体制としての協力・連携により、生徒の運動への参加機会を増やし、いかに体力の向上を図るかが課題となっている。

2 取組の目的

- ①部活動において、地域との連携を図り、体力・技術向上の機会の確保、運動習慣の確立を目指す。
- ②生涯スポーツとしての各種大会に積極的に参加する機会を作り、地域の一員として運動に積極的に親しむ生徒を育成する。

取組の内容

D

1 部活動の充実を図る地域・家庭との連携

(1) 地域の外部指導者との連携

各部活動には顧問を配置しているが、全ての教員がその競技の専門家ではない。地域の人材や保護者がボランティアとして指導にかかわり、顧問と連携しながら献身的に生徒に指導してくれている。保護者や地域住民には、全国大会に出場した方や体育協会、町役場の方もおり、平日夜間と休日に、毎週継続的に指導してくれるため、生徒の技能の上達が図られる。

(2) スポーツをする機会の拡大

本校の生徒は小学校からのスポーツ少年団やクラブ経験がない。そのため、各種スポーツの楽しさを味わわせることや技術指導を限られた時間の中で行わなければならない。そこで、部活動顧問だけでなく、地域の人材や保護者の管理のもと、自主参加制で、部活動の各種競技において、週に2～3回程度、1回2時間の夜間練習を実施している。(右ページ参照)

2 体育的行事の積極的な実施、地域のスポーツ大会や対外的な体育的行事への参加を奨励

(1) 体育的行事の実施

地区陸上記録会(8月)、マラソン大会(12月)、駅伝大会(1月)が行われる時期には、放課後、各大会に向けた走力アップが始まる。走り慣れた走力もつくにつれ、達成感も生まれてくる。また、部活動の地域の外部指導者が、朝練に走力主体のメニューを組み、試合の勝負処で競り勝つ先輩を見てきた部員は、積極的に挑戦をする走りを見せている。

(2) 地域性を生かした運動会

本町では、よさこいソーラン祭の伝統的なイベントや特産品の金目鯛をテーマに「金目の大将踊り」に町民をあげて取り組んでいる。本校でもこの踊りを運動会の表現運動に取り入れ、生徒自身で創造した表現を一生懸命体現する。町長をはじめとした地域住民も、中学生の姿を誇りに感じ一緒に踊っている。

(3) 地域のスポーツ大会や対外的な体育行事への参加の積極的な奨励

10月に行われる町民大会では、地域と学校が連携し、稲中ソーランを全校生徒で町民に披露するとともに、各種競技に地区代表として参加している。部活動の枠を超え、地区陸上大会への積極的な参加も図っている。

●工夫したこと

- ①戦術的な指導はもちろん、精神的な面でも一体となった指導ができるように、顧問と地域の外部指導者が連絡を密にして、共通理解を図るようにしている。
- ②授業ではトップアスリートの動画を見て、各種運動のフォームや動きを意識させ、外部指導者の専門的なアドバイスと生徒自身がつなげて考え、運動の合理性を追求できるように意図的な授業を組んだ。

取組の成果

Check

- ①学校と地域との開かれた関係によって、日常的に運動に親しむ機会が増えた結果、「好きな種目を見つけられる」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
 - ②専門的な技術を教わる機会が増え、意欲的に部活動に取り組む生徒が増えた。生涯スポーツにつながる活動や高校生の指導も受け、高校進学後もすばらしい成長を遂げている先輩に憧れ、高校生活の部活動に夢を描いている生徒もできた。
- 【生徒の声】部活の時間が少ない冬期、「夜練」により、年間を通した練習ができ、1年間に2回、東海大会に出場することができました。外部コーチ(地域の外部指導者)にはとても感謝しています。

今後の課題

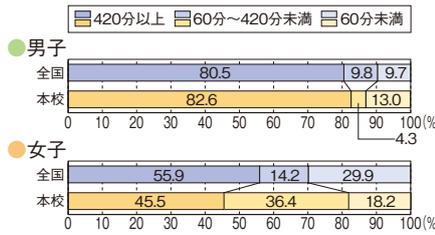
Action

- ①部活動顧問と地域の外部指導者が連携し、役割分担や安全かつ効果的な指導を継続できるような体制づくりを目指す。過度な練習による疲労や生活リズムに歪みがでないよう健康管理にも気を配る。
- ②同じスポーツを愛好する地域の仲間との交わりを大切に、生涯にわたりスポーツに親しむ気風をつくり、地域の一員としての誇りを一層育む。

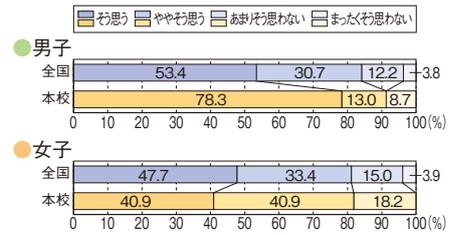
●体力合計点と運動時間

	男子	女子
体力合計点(点)	46.6	48.2
(5段階)総平均	A	6.3
	B	43.8
	D	0.0
	E	6.3
	AB-DE	43.8
1週間の総運動時間(分)	1053.9	635.9
60分未満の割合(%)	13.0	18.2

●1週間の総運動時間の分布



●【質問25】好きな種目を見つけられる



地域連帯による部活動の充実

- 地域の人材や保護者がボランティアとして外部コーチとして指導
- 地域の人材や保護者の管理のもと、週に2～3回程度、1回2時間の夜間練習場所を確保



夜間練習時間 19:00～21:00

部活動	曜日	部活動	曜日
男子バレー	月・木・日	女子バスケット	水・土
女子バレー	月・木・日	男子テニス	火・水
男子バスケット	火・土	女子テニス	木
男子卓球	木		

H24 H25 中学体育連盟大会の成績

	男子バレー	女子バレー	男子バスケット	女子バスケット	男子テニス	女子テニス	卓球
H24	東海大会ベスト8	地区大会予選敗退	地区大会予選敗退	地区大会予選敗退	地区大会4位	地区大会4位	県大会出場
H25	東海大会ベスト8	地区大会5位	地区大会3位	地区大会3位	地区大会3位	地区大会予選敗退	地区大会準優勝

☆夜間練習や休日の練習で、先生以外のコーチ等に教えてもらう機会がありましたか。(アンケート結果)

	定期的にあった	たまにあった	全くなかった
全校(吹奏楽部を除く)	82%	10%	8%

☆夜間練習や休日練習で先生以外のコーチ等に教えていただいたことで、自分の部活動における体力や技能の向上、また、運動の自信はつきましたか。(アンケート結果)

	とても力になった(体力・技術)	まずまずの成果が出た	あまり体力・技術の向上につながらなかった	全然効果がなかった
全校(吹奏楽部を除く)	67%	30%	2%	1%

「夜間練習や休日の練習で指導してくれる地域の人、また、町の町民大会や町民が運動する姿などを見て、あなたは町民の一人として地域でいろいろな年齢層の町民が運動に参加することは大切だと思いませんか」についてのアンケート結果

※複数回答

適度な運動は、年をとっても健康づくりのために続けたいと思う。	62%	町民が自分にできる種目に取り組む町民はいないと思った。	15%
生涯スポーツにつながるので大切だと思った。	37%	大人になったら、自分も中学生に教える機会があれば、教えてあげたいと思う。	15%
高校に行ってもできたら運動部に入って運動したいと思う。	29%		

体育的行事の積極的な実施や地域性を活かした取組・地域の一員としての誇りを育む

地区駅伝大会



地域の金目の大将踊りを園児と運動会で披露



校外マラソン大会



地域の伝統的な踊りを運動会の表現運動に取り入れる



地区陸上記録会



町民大会の様子

